



外国出張報告書

平成 26 年 7 月 23 日

1. 出張国名 マダガスカル
2. 出張月 平成 26 年 5 月
3. 出張目的 マダガスカル稲作農家調査 : B

4. 成果の概要

マダガスカル中央高地北東部アロチャ湖南西岸の灌漑稲作地域において、

- 1) 詳細調査準備のためのセンサス調査の指導と調査票作成、
- 2) 有機認証米のフェアトレードを行う農協と生産農家の調査を実施した。

センサス調査は共同研究機関であるアンタナナリブ大学が、アロチャ・マングル県 (region) アンバトンドラザカ郡 (district) アンピタアツィモおよびイラフィの 2 つのコミューンで、2014 年 4-5 月に実施した。

マダガスカルにおける有機 SRI 米のフェアトレード輸出は、農家の組織化から販路の開拓まで、外国の援助機関、社会運動団体、民間企業の強い支援があって実現した。現状では、有機 SRI 米の生産は、一部の意識が高く条件に恵まれた農家に限られる。また、生産者、販売業者、消費者との間には、物理的距離はもちろんのこと心理的距離も大きい。フェアトレード推進のためには、価格条件を改善して農家の生産意欲を高め、研修などによって技術普及を図ることが必要である。